

4人が連携して人命救助を行った現場  
＝八王子市で

### 八王子の人命救助

## 2ヵ月経て全員を確認



居合わせたのは偶然にも救命知識のあるプロたちだった。JR八王子駅の商業施設で八月、二十代の男性が倒れ、現場に居合わせた四人の男女の救命措置で、一命を取り留めた。うち二人は名乗らずに立ち去っていた。八王子消防署が呼び掛け、二カ月余りを経て全員と連絡を取った。四人は病院長、警察官、在日米軍の警備隊長、看護師という人命保護に携わる専門家だった。(布施合航)

四人は、南多摩病院Ⅱ八王子市散田町二の益子邦洋院長、八王子駅北口交番の石倉賢太郎巡査部長、在日米陸軍基地「キャンプ座間」(神奈川県)の大谷忠央警備隊長、看護師の新井沙也加さん。大谷さんと新井さんは名乗らずにその場を立ち去っていた。消防署の担当者は「これだけのメンバーがそろって幸運だった」と舌を巻いた。

四人が現場に鉢合わせたのは八月十五日午後四時ごろ。二十代の男性が、商業施設の「セレオ八王子北館」一階エレベーターホールで倒れ、心肺停止状態となった。「AED(自動体外式除細動器)を持ってきて!」との大声に気付いた益子院長がすぐに呼吸と脈拍がないことを確認。石倉巡査部長は無線で同僚にAEDを持ってくるよう指示。大谷警備隊長、看護師の新井

さんは協力して心臓マッサージを行った。

八王子消防署は、益子さんと石倉さんには八月中旬に消防総監感謝状を贈呈した。立ち去った大谷さんと新井さんには、メディアを通じて連絡を呼び掛け、ようやく今月十九日までに感謝状を贈ることができた。

益子さんは「後から来た人たちの協力もあり、蘇生することができた」、石倉さんは「訓練を覚えていたので無意識に体が動いた」とコメント。後に名乗り出た大谷さんは「四人の一步踏み出す勇氣が男性を救った」、新井さんは「医療器具やカルテのない活動は大変でした」と話した。

同消防署の原崎義之署長は「四人が早期に連携して適切に活動して助けることができた」と専門家四人に謝意を示した。

# ふたを開けたら「プロの救命隊」



病院長 脈拍確認



警察官 AED指示



米軍基地警備隊長・看護師心臓マッサージ



(上から順に) 南多摩病院の益子邦洋院長、在日米陸軍基地「キャンプ座間」の大谷忠央警備隊長、看護師の新井沙也加さん＝いずれも八王子消防署で

## 多摩 武蔵野

### 心のふるさと 祈りのお山 高尾山薬王院

#### 都内の天気

都区部	きょう	あす
都	☁	☀
府	☁	☀
中	☁	☀
八王子	☁	☀

きょうの予想 (府中)

降水確率 朝60% 昼50% 晩20%  
気温 最高20度 最低15度

を展示した。作品は、ロックダウンでワインの盛り盛り店が閉まって空になっ

## 新型コロナ

## ロックダウン 日常描く